（様式１）

県立牛久高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

①「進路を極める牛久」、「人間性を高める牛久」、「国際社会を生きる牛久」を３つの柱とし、生徒が様々な教育活動に参加し、主体的に学び活動できる環境をつくる。
②「キャリア教育」を念頭に、教育活動を計画し実践する。生徒一人一人の進路希望の実現を目指す進学校として、知育・徳育・体育の全人的教育を行い、地域から信頼され存在感のある学校を目指す。
③社会の一員としての役割を自覚し、実践する心を育成する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

（１）日常生活や社会に目を向けることで、自ら課題を設定し、将来の進路や職業と関連させながら、深い課題意識をもつことができる。
（２）主体的に必要な情報を収集し、整理・分析するとともに、体験活動を行うことで、学びたい学問分野について、理解を深めることができる。
（３）自分の考えをまとめ、課題解決に向けた取り組みを表現、発表する中で、気付きや発見を重ね、試行錯誤することができる。

総合的な探究の時間の学習評価

〇１年生
・成果物（プレゼンテーション資料、成果報告書）を各担当者が評価する（①知識・理解）
・各単元の最後に実施するリフレクションシートを各担任が評価する（②思考・判断・表現）
・グループ内での話し合いの様子を、各担当者が評価する（③主体的に学習に取り組む態度）
〇２年生
・成果報告書を各担当者が評価する。（①知識・理解）
・テーマ設定、中間報告会のプレゼンテーションにおける、内容および生徒の批評的視点を、各担当者が評価する。（②思考・判断・表現）
・中間報告会および探究発表会のプレゼンテーションを全教員で評価する。（①②③すべて）
・グループ探究を進める中での協働性および主体性を各担当者が評価する。（③主体的に学習に取り組む態度）
〇３年生
・進路探究における生徒の取り組みおよび成果物を、各担任が評価する（①②③すべて）

生徒の実態

生徒の大半が大学進学を希望しており、進学への意識は高い。素直でまじめな生徒が多く、学校行事や部活動にも熱心に取り組める。一方で、積極性や主体性に欠け、０から１を生み出すことができない。物事の深掘り・批判的思考ができず、安易な決断に終始する場面が散見される。

生徒の発達をどのように支援するか
〇配慮を必要とする生徒への指導

１年生に対しては、グループエンカウンターを通して、話し合いや発表活動がスムーズに行える雰囲気を醸成する。また、副担任も含めて１クラスを複数教員で担当することで、生徒情報を共有理解を図った上で、必要に応じて少人数指導や個別指導を行い、探究活動を支援する。

目指す生徒の姿

主体的な課題意識をもとに、他の生徒と対話し、お互いを認め合う中で、自尊意識や自己肯定感を高め、自己の責任や役割を明確に認識することができる。
社会貢献を念頭におき、広い視野をもって、自己の目標を定め、それに向けて仲間とともに最大限の努力を継続できる。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

(1) 人間関係の基礎となる「知る」「関わる」「表現する」といった汎用的能力を高め、言語活動の充実と、学び合う雰囲気を醸成する。
(2) 探究学習の基盤となる自己の興味関心の幅を広げる。
(3) 様々な業界で活躍する熱量のある大人に触れ、講師の生き方・在り方と自分自身の未来を繋げ、キャリア形成の一助とする。
(4) 物事を深掘りすることを通して、探究・研究する楽しさを味わう。

学習活動、指導方法等

〇１年生
単発の２～３時間程度の単元を複数実施し、人間関係および探究学習の基礎的能力を育成する。年間の最後に自由課題設定の
・「ＮＡＳＡゲーム」　ＳＧＥを通した集団作り
・「私の好きなもの」　自己紹介を紙にまとめて実施する班内プレゼン
・「あなたの知らない薬の世界」　星薬科大の教授による出前授業
・「Let’s interview！」　大人にインタビューして行うプレゼン
・「大学見学発表会」　各自で行った大学見学のプレゼン
・「住友商事出前授業」　住友商事によるキャリアセミナー
・「社会人セミナー」　社会人講師を招いて行うキャリアセミナー
・「ミニ課題探究」　自由課題で実施する個人課題探究

〇２学年
・「グループ課題探究」
年間を通してグループ自由探究を行う。地域や企業などの外部との接触を通して課題発見・課題解決能力を高める。
・「探究発表会」
・「社会人セミナー」社会人講師を招いて行うキャリアセミナー

〇３年生　進路探究

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

〇進路指導部探究室が中心となって企画し、全教員で実施する。各クラスの指導は、担任及び副担任の２名体制で対応する。
〇進路指導およびキャリア教育と総合的な探究的な学習の時間の相互関連と相補的に計画していく。
〇学校家庭クラブ・性教育講話・薬物乱用防止講話などを探究的な視点で再構築し、生徒のキャリア形成および探究テーマとの関連を図る。
〇絵本読み聞かせ活動・児童クラブボランティア・特別支援学校訪問事業など、既存の活動と探究活動を連携させる。
〇牛久市商工会・牛久市役所との連携を図り、２年生の探究活動は地域企業の協力のもとで実施する（令和８年度以降）